

常警每日新聞

定額一圓五角... 電話六三〇〇番... 印刷所 每日新聞印刷部

眞實と虚偽

中村 哲彌

文明生活、從つて全ての集團生活は人々が互に信頼出来る時のみに可能である。換言すれば眞實が人間にある時にのみ成立つてが出来る、この事は非常に大切なことなので、成人特に両親達は子供の言動に不正直の現はれるのを大いに悲しみ、又少なからぬ衝撃を受けるのが普通である。吾々は正直の理解と正直を愛する情とを兒童の中に發達せしめんとし嘘吐きになることを抑制しようとする念願の強い餘りに、見當違ひの熱心の爲めに却つて目的を破壊することがあり勝ちである。

【朝】味噌汁一葱
 小付 わさが漬
 【晝】煮奴
 小井 ぶどう豆
 【晩】蒲燒御飯
 浸し物小松菜

成人の正直の基本たる「眞」に對する知識と愛とは要するに多年の経験と努力により、所謂年の効で、成人の境に到つて初めて達成したところのものなのである。従つて吾々は、子供に向つて成人の標準通りに行爲することを要求するのは、いととしても、子供が「眞」といふものの抽象概念をもつやうに期待するのは徒勞である。子供が話す事を感じつつある時期、或は時

として其の後に於ても兒童には想像、記憶、夢等の創造物と現實の出来とを區別し得るやうな辨別力が發達してゐるわけではないのである。兒童は彼等の願望から生み出される捉へ所のない想像と現實の事態とを區別することが出来ない。そんな次第だから、兒童が花が草叢から蝶々見たいに飛んで行つたとか、猫が彼

彼れはそれ以上に何の餘念もないのだから彼れの虚構を信用しないことによつては彼れの嘘吐きを治癒することは出来ない、何となれば彼れは自覺してうそをいつてゐるのではないのだから。然も吾々の意志の悪い非難は、自分の心に浮んで来る觀念言葉に表そうとする兒童自身の努力を阻害せしめ、而して或人の同情と理解とに對する彼れの信頼の念を破壊することに



暗の花

木津 茂太郎

その白い印象は壁のやもりだ
 心臓の上にとまつてゐる
 肉体が豊満な曲線を引き
 暗の花のやうだつた
 官能の花火があがつてゐるではないか
 その女を愛すること限りなし
 春の精靈のやうな女よ
 さあ廣い草原に出て行かうせ

御入學・御進學

美事な ファイン・ブレ

をなされた御愛兒様へ!!
 小店にては御愛兒様と御日の御愛願に酬ゆる爲左記の通り奉仕特賣致します。記念として何卒御用命の程伏して御願ひ申上ります。

旅行と實用とを兼ねた
 責任保證附 腕時計
 定價 金七圓五十錢ヨリ
 (ゴム又は皮バンド附)

萬年筆
 定價 八十錢ヨリ

ビクター・コロンビア
 ボリドール

特約店 金光堂時計店
 平町五丁目

平二巻窓墨通り 魚清食堂

魚清六三三

呼吸患救済の王
 陸海軍御用
 帝國大學醫學部御用
 官公立醫學專門學校御用

吸入用 酸素
 體溫計 (メートル)

御用命次第迅速に御届け致します
 平町古鍛冶町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局
 電話 四四番
 振替口座東京三〇〇五番

毎度特に御引立に預りまして厚く御禮申上げます。寒かつた冬も何時の間にか過ぎ去りまして、春が訪れて参りました。何卒お花見には多少共御下命の程伏して御願ひ致します。

乍末筆来る春と共に皆様の御健康と御繁榮をお祈り致します。

魚清食堂

平町五丁目

呼吸患救済の王
 陸海軍御用
 帝國大學醫學部御用
 官公立醫學專門學校御用

吸入用 酸素
 體溫計 (メートル)

御用命次第迅速に御届け致します
 平町古鍛冶町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局
 電話 四四番
 振替口座東京三〇〇五番

北川外科

平町新川町二七
 醫學博士 北川芳夫
 醫學士 與義弘

外科 一般
 內臟外科
 花柳病科
 肛門病科
 レントゲン科
 物理療法科

デモ入院 電話四六四番
 出來マス

擴張御披露

私事永らくの間東京精養軒及丸ノ内會館に於て各國の高級料理と眞の支那料理の研究を遂げ、此程歸平しまして、デパート式食堂を開く事になりました。何卒御引立の程御願ひ致します。

金子松男

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る最も進歩せる洋食と支那料理

福壽軒

平町田町

三大モットー
 味良 (自信の出来る研究の結果を齎します)
 量多く (自ら庖丁を手にして他人に委せはす勉強振りをして量に依つて現します)
 衛生上 (加熱消毒を致します)

田町銀座街より一步御入りになれば、感じよい設備で御家庭を延長した御気分が味わはれ、近く御便宜で御座います。

◎材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速

電話 二一八番

公會堂が決定

博覽會跡町有地に

都市的の偉觀を呈して

本年度中には實現する

平町會は卅日午後一時半から開き公會堂建設十一年追加豫算寄附採納その他に就いて協議したが公會堂敷地は委員會の決定通り同町仲町町所有地(博覽會跡)に満上一致で決定、總額八萬圓を計上して十一年度追加豫算として財源を起債に仰ぐことになつたがひとまづ全額起債として今後寄附募集

活動を起こしその結果募集額に依つて起債を漸減することに決定、多年の懸案は茲に解消し愈々本年中に二千人を收容する木骨コンクリートの洋館及び百疊敷の日本館等が南裡新通りの一角に偉觀を呈す事に依つて平町の都市的面貌が整備する譯である

鮫川組合

親和高女(山本愛子(安積高女))
追加豫算か
鮫川堰更通水利組合通常總

小學教員の異動

本郡下の校長と訓導

郡下小學校教員の異動は今三十一日發表されたが本郡下の校長及び訓導異動の判明せる分左の如し

△小學校長
新任 舊任 氏名

勿來 草野 五十嵐新平

草野 豊間 大平喜一郎

豊間 玉川 大塚 吉藤

玉川 小名濱 石井貞藏

山田 赤井二 大越國治

赤井二 勿來二 門馬 治

勿來二 平第一 鈴木 康

上三坂 赤井二 川隅英一

△訓導
平第一 平第二 鈴木武雄

平第一 草野 三森芳重

平第一 新卒 四家 隆

平第三 専攻 佐藤惣一

富岡 平第二 荒 忍

會は卅一日午前十時から平町團體事務所樓上に開き十一年度豫算歳入經常部一萬九千三百四十六圓、臨時部千三百八十二圓、計二萬七千八百二十八圓、歳出經常部三千四百三十三圓、臨時部一萬七千三百二十五圓、計二萬七千二百八十八圓を計上したが昨年と比較して歳出經常部三百六圓、臨時部十九萬五千二百一十一圓の減を見てゐる之は昨年施工工事ヶ所の請負者が決定せず十一年度に持越されたことに依るもので請負者が決定次第臨時會で追加豫算として計上されるものである

品評入賞

石城郡内二歳駒の品評會は廿九日兩日三坂村字中寺で縣村瀬枝手審査で行はれ出場馬三十四頭中左記の如く入賞した

△一等樂山號佐藤房治
諏訪號加藤西之助 △二等春風号内藤右京 永藤号水野藤助 第二昭伯号大谷安之助 上號加藤彦左衛門 △第三等志賀良助大谷卯之助 佐藤利三郎 青木久七郎 田子義任 草野カク 佐藤甚一 草野惣吉 △第四等青木元近外十九名

尚品評會後第一回のセリを行つたが最高八十五圓最低七十五圓總額二十六十九圓(三十四頭)で平均六十二圓であるが昨年と比較して安くなつてゐる模様である

鮫川工事經過 鮫川堰普通水利組合が組合水路改修のため山作應救施設農業土木工事として施行中の玉川村地内水造工事は國庫補助の部分は期間内に竣功する見込みであるが自力工事は見込みなきため十一年度に繰越してやることになつた

△一高受験合格 磐中卒業生中仙臺二高入學試験合格者左の如し
(文科)川島令吉 小林美治 (理學科)會川正四郎

搾油工場大繁昌で

近く擴張工事に着手

既報磐城販利四倉搾油工場の製品は最近益々好評を博し各地より注文が殺到するので現在の工場敷地二十坪では狹隘を告げるに至り近く工費千圓を以て敷地二十坪を擴張し作業場油貯藏所等を新築することになつた

磐女編入

合格決定

昨卅日施行された磐城高等女學校の轉校編入試験の合格者は左の十名である

△二年 三瓶きい子(角田高女) 志賀あけい(角田高女) 佐藤きく子(角田高女) 西尾ひう(東京調布高女) 佐藤節子(宮城縣涌谷高女)

△三年 江尻りゆう(角田高女) 上澤智子(相馬高女)

△四年 小林俊子(神戸)

平小鐵道

促進運動

委員が協議

平町では明四月一日午後一時から同町會議室で平小鐵道促進委員會を開きこれが促進運動に就いて協議する

持米流出

相場下落か

平農業倉庫の共同販賣は今卅一日午後三時より行ふが本日午前中の申込数は左の千六百十五俵に達した農家持米の流出が相當多くなつたので相場は安値を豫想されてゐる

平一六七俵 鹿島四三
草野一六 大野一三二
勿來一二四 小川八四
平窪四四 飯野四五 神

小林三四

平町人事

△番匠町四 草野正氏三男 清さん

市原醫院

平町・四町 電話一四四番

産婆看護婦 募集

願書締切 四月五日迄

平町一丁目

石城 産婆學校

平町通電話六五六番

玉屋洋品店
平町通電話六五六番

内科 小兒科 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

解雇約三千名の 處置が仲々困難

災禍後の昭和人絹會社

平と水戸の紹介所狂奔

既報去る廿八日錦村昭和人絹會社工場大火の殉職者合同社葬は卅日同工場内に全員の涙のうちに執行されたが同工場復舊は大體見込がつかない模様で
保険金が決定後具體的な計畫に移るものと見られてゐるが今次火災に依る重要な問題は男女従業員約三千名の解雇を餘儀なくされる爲め
△解雇手當を日給十四日分位支給する△休業中の手當は日給の六割を支給する△歸郷の旅費を支給する
を大體の方針とする豫定であるが今回の解雇は復舊までの一時解雇と云はれてゐるが中には事實上永久的解雇の者もあるらしくその結果生ずる失業者の處分對策のため平、水戸兩紹介所は協力して善處處置を考慮してゐるが之が

郡内並に茨城縣方面に亘るためこれが處分は今後仲々困難であらうと見られ相當注目を蒐めて居る
人絹會社の貨物保管
既報錦村昭和人絹會社で工場は操業不能に陥つた爲め
△石炭四月二日午後六時迄
△バルブ類同十五日迄
△曹達、亞鉛、油類期間未定

生別の姉を慕ふ 愛し子の至情に

動かされて平署へ出頭 五年前別れた夫を探索

茨城縣那珂郡平磯町字小向永井たけ方同居人寺門くらさん(四七)は以前内郷村大字御厩に夫の根本善次郎と共に居住してゐたが譯あつて五年前離別されて自分の手許に二女のみさ子(現在十五才)を引取り父の許へは長女きよ子(現在十七才)を置いて来たが最近になつて物心のついて来たみさ子が毎日の様に姉を慕つてしよんぼりしてゐる姿が可愛相で堪らず 夫は音信不通ですが子供達だけは音信させて下さいと平署へ願ひ出たので同情した平署で善次郎

運動部の 指導者決定

磐城高等女學校の新年度の運動部指導メンバーは左の如く決定した
△庭球部 鈴木 大内
野口 金澤 橋本 △競
技部 蝦名 永島 石山
内村 武藤 △籠球部
新妻 水島 菅波 佐々
木 △排球部 穴井 森

明日の天気

今晩は南の風晴薄く
明は南の風薄曇り

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 音楽物語「ハイドジ」大阪放送重話研究会
- 後六、二五 青年の時間 「東北農業革新研究」の收獲 西村健吉他
- 後七、三〇 講演「科學界のトピック」淺田常三郎
- 大阪帝大理學部實驗室
- 大山 △卓球部 山口
- 赤木 中西 △弓道部
- 土岐 岩崎

保線區の 事務所落成

既報平保線區事務所は去月初めより工費二千餘圓で事務所を改築中であつたが本日竣工白亜半家造りの瀟洒な事務所となり本日より新館で事務を執ると
高木書記出發 白河區裁判所檢事局へ榮轉の平區檢事局書記高木信一氏は今卅一日午前十一時十分發

警女生も 初段受験

弓道階級に
平武徳會主催の弓道階級試験は三十日午前九時から平署弓道場へ縣から佐倉範士大平、松崎の兩練士審判の許に舉行、参加者二十九名初段十五名、二段八名、三段六名の受験者あつたが受験者中には磐城高等女學校三年生堂山サダ、野木ヨシ子兩嬢も初段を受験して氣を吐いた

温情ある判決に 過失撲殺の男が感泣

當時内郷村室字代六九居住田村郡越村生れ日雇稼吉川幸太郎(四七)が一圓の貸借から泥酔の上兇器を携へて暴れ込んだ男を逃げんとし、手を撲殺して了つた傷害致死事件第三回公判は今卅一日午前九時から平支部

明日の部

- 前七、〇一 朝の修養「神皇正統記」平泉澄
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前九、五〇 選抜野球大會(甲子園球場より)定時中斷
- 前一二、三〇 家庭講座「榮養と調理」食品と榮養 素一 下田吉人
- 後〇、〇五 和洋合奏 江東管絃樂團
- 後二、〇〇 家庭講座「春と野遊び」庄野貞一
- 後六、〇〇 子供の時間

酌婦逃走 抱主の隙に

小名濱町字中町料理業松葉屋こと林ナカ方酌婦靜岡縣志太郡小川村生れ伏見コウ(三〇)は昨年十一月月中旬借三百五十圓で同家に雇はれて以來同町字西町漁夫三重縣北牟婁郡長島町東藤作(四七)と馴染を重ねて未だ夫婦と約速したが男に金が出来ぬため二十九日午前五時頃家の隙を覗ひ手に手を取つてドロンを極めこんだので青くなつた抱主が兩名共金がなく附近に潜伏してゐるらしいと平署へ取押方願出た

平裁判たより

△石城郡江名町大字江名字北町六九白土國治氏方自動車運轉手會田義成(一九)假名は去月廿五日午前九時頃トラックを運轉し東茨城郡福荷村國道地内を疾走中ブレーキの御用命は：
常磐毎日印刷株式會社へ

デパート式 食堂を開始

常磐毎日印刷株式會社へ
一キの故障から同村大高正行佐藤武の兩名を車体に觸れ夫々全治二週間の傷を負はした事件は今卅一業務上過失傷害罪で略式罰金二十圓に處された



繞る瓦解の謎

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

八五 駕で根岸へ
お花は八百松にむかひ
花「松さん何うしてこへ
来たの」
松「青木のだんなの用で三
河島まで行つた歸りさ、根
岸に行くはこの天王寺を抜
けた方が近い、そこでこ
まで来ると鐵砲の音がした
何事かと飛んで来て見ると
お前が駕昇を相手に芝居を
してゐる所は谷中の天王寺
五重の塔をうしろして櫻の
下で花の様な美しい女が鬼
のやうな奴をむかふにまは
してズドンと一發、危い物
を飛ばすとはこれは猿若町
でも見られねえ大芝居だ、
イヤ度胸の宜いのに吃驚し
た」



花「困つてしまつたよ、こ
んなところへわたしを連れ
込んでかびの生えた白をな
らべてこのお金を取らうと
したんだよ」
松「ウーム文庫に大分金が
あるが何處から持つて来た
ね」
花「その事は青木さんから
聞いておくれ、時に松さん
これから歸りにしても雨は
降るしお姫様は歩行でお館
へお戻りなさるは大儀だが
ね」

○「驚いた、三年ばかり
壽命を縮めてしまつた、さ
ア何卒お召しなすつて下さ
い」
かごかきはお花の剛膽と
八百松の助勢に氣を吞まれ
ておとなしくなつた、お花
は文庫を持つてかごに乗り
うつる、八百松はこれに付
きそい天王寺をあとにして
たんぼを越して根岸に入つ
て来た、時にかごかきの文
太郎が
文「姐さんお住居はお行の
松の近所だと聞きましたか
どの邊でございます」

ひどい路だ
と石稻荷の前まで来たが
かごかきは提燈をあげて
文「こゝは石稻荷でござい
ますが、このかごを何處へ
付けますかね」
花「むかふの二階だよ」
見ると雨の煙るなかに新
しい二階家がある、まはり
には竹の垣、入口には木戸
この時松がボンと木戸押す
とチーンと鈴蟲のやうな音
がした、やがて竹であんだ
路次行燈をさげ深蛇の目の
傘をさしてそれへ出て来た
女が

文「へエかしてまゐりまして
ございます、イヤ何うもこ
の姐さんの氣の強いはび
つくりしましたよ、もつと
も新端で乗せた時にたゞの
女ではねえとは思ひました
がこれ程の度胸があらうと
は氣がつかせません、最初は
七首を引き抜きその次は種
ヶ島危ない物ばかり持つて
ゐるんだ、ヤイ相棒この姐
さん根岸まで送つて行く
んだしつかりしろ」

花「こゝはお行の松かえ石
稻荷のそばまで持つて行つ
ておくれ」
文「へエかしてまゐりました
オイ相棒、姐さんには五分
のすきはねえや、行くところ
は石稻荷の近所だがお住
居を知られるとあとが面倒
とお行の松までやれといひ
なすつたがその實は石稻荷
だ」
○「石をまつといひなすつ
たか、オット悪いよ」

の主人は何者かと中をのぞ
いてゐる

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
茶		

平・田町
レストサロン
電話三五二番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

看護婦急派
求めに應じ
ます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七

木村病院
平町新川町十九
電話一六四番

是非！
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じ
ます

三井質店
平四電六〇六番

桑原柔道整骨院
平町公園下電話六六四

有給社員募集
一、地方擴張ノ爲男女十數名募集
固定給ノ外歩合アリ
資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス
但シ誠意奮闘家ヲ望ム 希望者ハ
午前中當出張所へ面談アラレタシ

野村生命保險株式會社
磐城出張所 平町長橋町四七
主任 福島 健之

花環 神佛葬具
盛花
久壽玉
御弔燈
寶明燈
靈柩自動車

造花
平新川町
本橋
屋
三六一電